

大村の自然が原点



CLOSE UP
大村人

山を駆け登る山岳スポーツ「スカイランニング」。標高2,000メートル以上の山をどれだけ短い時間で登れるかを競います。スカイランニングの日本王者に君臨しているのは、本市出身の宮原徹さん。国内では「皇帝」と呼ばれるトップアスリートです。

宮原さんは、中学・高校時代に陸上部に所属。当時から、郡岳を登る練習をしていたそうです。陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地に赴任し「富士登山競走大会」に出場してから転機が訪れます。山への適性を見出された宮原さんは、初出場でコースレコードを更新するなど、3回出場してすべて優勝。宮原さんのタイムは歴代最高で、今も破られていません。

また、宮原さんは日本のみならず世界各地のレースにも挑んでいます。米国の歴史あるレース「ピイクス・ピーク・マラソン」では、日本人初優勝。入賞を挙げればキリがないほど、世界大会で日本・アジア人初の偉業を達成しています。昨年は、スカイランニングのバーティカル種目でアジア選手権優勝、ジャパンシリーズでも総合ランキング1位です。

4月に多良山系で開催された「多良の森トレイルランニング大会」に宮原さんはゲストランナーとして参加。「スカイランニングを含めトレイルランニングが九州に上陸したのはごく最近。大村で開催され、盛り上げられたい。自然の中を走る爽快感はたまりません。小さい頃から遊んでいた大村の自然が自分の原点です。」宮原さんは己の肉体と山に挑み続けます。



Profile

みやはら・とおる
昭和57年12月25日生まれ
郡中、諫早高卒。諫早高では全国高校駅伝に出場。自衛隊体育学校を経て陸上自衛隊滝ヶ原駐屯地に勤務。富士登山競走優勝3回、米国「ピイクス・ピーク・マラソン」優勝2回をはじめ、世界大会での入賞多数。2016ジャパンシリーズバーティカル種目総合ランキング1位。静岡県在住。34歳。

スカイランナー

宮原 徹さん



クローズアップ

大村人

vol.25

このコーナーは、ふるさとを思いながら、市内外で活躍する大村人、を紹介していきます。